



contents

- 会長挨拶
- 第47回長野県臨床検査学会に参加して
- 令和5年度長野地区会文化活動に参加して
- 令和5年度長野地区会文化活動アルバム
- 地区会コーナーへの想い
- 第51回国臨協関信支部学会地区会コーナー
- 令和5年度長野地区会役員
- あとがき

会長挨拶

まつもと医療センター 岡村 治



長野地区会の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。また、日頃より当地区会活動にご理解とご協力を賜わり深く感謝申し上げます。

さて、6月の長野地区会総会後、地区会ニュースをようやく発行することになりました。お待たせすることになり申し訳ありません。

活動として、7月に第1回理事会を開催し、令和5年度の1年間の活動内容を話し合いました。まずは、関信支部学会の「地区会コーナー」のポスター作製に取りかかり、『長野地区会員が選ぶ長野のおすすめスポット』をテーマに皆さまから寄せられた観光スポット、グルメ、趣味嗜好など多くの写真で力作が完成しました。学会のサイトを見る限りでは各支部とも甲乙つけがたいポスターでしたが、残念ながら賞には選ばれませんでした。しかし、来年はリベンジしたいですね！

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたものの、終息の兆しは見えず、さらにインフルエンザウイルス感染症も拡大する中で、社会的には学会・研修会・イベントなどはオンラインから集合型へ戻りつつあります。

そこで、今年度は4年ぶりになる長野地区会文化活動（交流会）を12月に開催しました。今回は14名の会員にご参加いただき、千曲市にある歴史ある酒蔵見学と陶芸体験、そして蕎麦会席と楽しいひとときを過ごしました。詳細は本号掲載の体験談をご一読ください。

最後に、今後はコロナ禍以前のように交流の機会を増やすとともに、このページを通じて情報提供を続けてまいります。また、皆様からの地区会に関するご要望やご意見などがありましたら、どうぞお知らせください。

今後とも皆様のご協力お願い申し上げます。

第47回長野県臨床検査学会に参加して

信州上田医療センター 梅戸 克之

令和5年12月3日（日）に佐久大学（佐久市）にて第47回長野県臨床検査学会が「信頼への扉 ～臨床検査室が担う品質保証へのアプローチ～」をテーマに開催されました。



今年は東信支部が運営担当ということもあり、運営委員として参加し微力ながら協力させていただきました。学会前日の会場設営やリハーサル等から始まり、当日は第1会場PC係を担当しました。第1会場は式典や教育講演、市民公開講演、シンポジウム等が行われるメイン会場であったため、“ミスが許されない”という緊張感から常にプレッシャーを感じながらの1日でありました。しかし、そんな心配をよそにPC操作等で想定外のトラブルもなく、学会全体としても滞りなく終えることができました。また、実行委員や運営委員、座長、発表者、聴講者として参加された長野地区会会員の皆さま大変お疲れ様でした。

久しぶりの集合型学会で運営委員としての参加でしたが、他施設の方と交流を持てたことや改めて会場でしか味わえない面白さ、情報交換の場としての有用性を感じることができた有意義な学会でありました。

さて来年の話となりますが、2024年度の「日臨技 関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会（第60回）」は長野県（軽井沢町）開催となりますので、是非とも協力・参加いただければと思います。

さて来年の話となりますが、2024年度の「日臨技 関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会（第60回）」は長野県（軽井沢町）開催となりますので、是非とも協力・参加いただければと思います。



令和5年度長野地区会文化活動に参加して

まつもと医療センター 宮坂 章平



コロナ禍のため開催中止となっていた長野地区会の文化活動は、令和5年12月9日に4年ぶりに開催されました。久しぶりの開催となった今回の文化活動は、千曲市にある萱葺き屋根が特徴の「蔵元 坂井 銘醸」の歴史ある酒蔵見学と、敷地内にある「焼きもの処 陶(とう)」で陶芸体験、「蕎麦料理処 萱(かや)」で会食しながら懇談会という内容で14名の参加者を迎え行われました。

酒蔵見学は、宝暦11年（1761年）に造り蔵として建てられた最も古い蔵のほか、幾つもの蔵には当時の道具がそのまま展示されていて、説明を聞きながら当時の酒造りの様子を垣間見ることができました。陶芸体験は、先生のご指導の下、各自2つの作品を作成しました。私は湯呑とマグカップを作成しましたが、無骨でかなり個性的な仕上がりとなってしまいました。しかし自分で一から土をこね、作り上げた作品は市販されているものでは中々感じるこのできない愛着が湧き、今後使用するのがとても楽しみなものとなりました。昼食には、この地域の郷土料理「おしぼり蕎麦」をいただきました。辛みの強いこの地域特産の「ねずみ大根」をすりおろし、しぼり汁に信州みそを加えて付け汁として蕎麦を食べるのですが、あまりの辛さで二口目を食べるために覚悟と勇気が必要でした。しかし食べ進めていくと病みつきになり、気づいたらあっという間に完食してしまっているという不思議な蕎麦で、伝統料理の奥深さを感じることができました。



4年前に長野県に来た私にとって初めての参加となり、陶芸や郷土料理を食す体験は非常に有意義なものとなりましたが、それ以上に長野地区会に所属する他施設の皆様と交流が出来たことが何より貴重な経験となりました。新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、今後様々な集合型の交流会や研修が開催されることと思います。今回参加された皆様はもちろん、参加できなかった皆様もまた別の機会でお会いし、長野地区会の交流を深めることができればと思います。

令和5年度長野地区会文化活動アルバム



地区会コーナーへの想い

東長野病院 齋藤 広樹



今年度、長野地区会役員となり広報を担当させていただくことになった齋藤です。

自己紹介の代わりとして、最初の会務である関信支部学会の地区会コーナー作成での感想を書かせていただきたいと思います。

今年度のテーマである「地区会員が選ぶ長野のおススメスポット」については、長野地区会は関信支部一の団結力をみせるため、すべての会員からスポット写真とそのコメントを集めることにしました。会員一人一人が思うおすすめするスポットやグルメスポットを自撮りし、その写真にコメントをつけて提出してくれるようお願いしたところ23枚も集まりました。正直なところ数枚しか集まらないのではと少し不安はありましたが、これほどたくさん提出してもらえるととは思っていませんでした。

地区会コーナーのスライドは施設数+2枚と決まっていて、長野地区会は6枚と限られています。提出してもらったスポット写真すべてを載せることを前提として考えていたので、23枚をどう掲載するか編集方法に悩みました。そこで、会員全員に1～3位までを投票してもらい、順位付けをして高い順位の写真を強調し掲載することにしました。6枚合わせると背景が長野県地図になる裏設定を施し、我ながらすばらしい仕上がりだと自画自賛し良い評価がいただけるものだと思っていました。しかし、結果は何の賞も貰えず寂しい感じで終わってしまいました。反省点をあげるとすると他の地区会スライドと見比べてみると若干インパクトが弱く目立っていない印象があります。また、実際の学会ホームページでの閲覧上では順番が最後だったので、M-1やキングオブコントのような評価に対して不利な状況となってしまったのではと考えています。しかし、内容的には長野地区会の団結力「We love NAGANO」を関信支部全体に見せることができたと思っております。

最後に長野地区会会員の皆様方にはいろいろ面倒をお掛けしましたが、自分としてはとても満足いくスライドができたと思っております。改めて感謝申し上げます。

齋藤